

寝ているウサギを 起こしてあげる カメになりたい

——美容師「鈴木三枝子」最後のメッセージ——

中原 渚・著 定価 2,500円 (税込)

寝ているウサギを
起こしてあげる
——美容師「鈴木三枝子」最後のメッセージ——
カメになりたい

2008年7月19日、49歳で他界した鈴木三枝子さん(MINX)。末期がんの宣告を受けたあとも、夫以外の誰にも知らせず、限界までサロンに立ち続けた。

美容の仕事への情熱、お客さまへの思い、スタッフへの教え、そして家族への愛。

彼女の生き方は、多くの美容師の方々に勇気を与え、仕事や人生に疲れた人の背中をそっと押してくれる……。

「自分自身がこの世から去った後を想像したとき、鈴木さんのように『1人ひとりのお客さまの文化になっていた』といわれるだろうか？
私は美容師として、女性として、まだまだ鈴木さんの足元に及ばない存在ですが、誰からも必要とされる、人を愛し、愛される美容師であり、女性でいたいと思いました」

感動の声、殺到!

「天職」というものについて、とても考えさせられました。鈴木さんは亡くなる3か月前まで1日20人のお客さまをこなしておられたとか。
本当に鈴木さんの命の源は、美容師という仕事であり、お客さまと接する時間だったんだなあと思いました」

「楽しい仕事だから笑顔になるのではなく、笑顔でいるから楽しい仕事ができる——という言葉に心を動かされました」

鈴木三枝子さんが
共鳴し、愛唱した詩

つらいことが多いのは
感謝を知らないからだ

苦しいことが多いのは
自分に甘えがあるからだ

悲しいことが多いのは
自分のことしか分らないからだ

心配することが多いのは
今をけんめいに生きていないからだ

(中略)

おくれてもいい

寝ているウサギさんを
起こしてあげられるカメさんに

私はなりたいな

作・石川 洋

「この本に出会えて、良かった」
これほど心に残った本があったらだろうか？ 話題の3冊！ デイリーラー・トップ営業マンも、絶賛。